



第2図 「串ざしだんごモデル」のますい点

「逃が道」であるとされた。地球の自転運動はいうまでもなく恒星の日周運動の観測から行なわれる。「地球の自転」という語を「恒星の日周運動」におきかえたらどうなるだろうか。

「串ざしだんごモデル」は「では共通重心のまわりの地球の運動が何故恒星の日周運動（1 恒星日）に影響を及ぼさないか」という素朴な疑問に全然答えられない。何故なら第2図に示すように共通重心 G のまわりの回転角 θ は、そのまま地球の中心から見たときの回転角となるため、共通重心のまわりの月の公転運動の不整が、そのまま地球から見た天体の日周運動の中に入って来て1 恒星日の長さ周期が1 恒星月となるような大きなむらをつくることになる。1 恒星日の長さによるこのような顕著な不整が認められないことは周知の事実である。

したがって第2図のような「串ざしだんごモデル」は誤りであることになる。それで1 恒星日の長さへの影響もあたえないような起潮力のモデルとして前述の「並進運動モデル」を採用するのが正しいと思うわけである。
(東京都立戸山高校 平瀬志富)

賛助会員名簿

- | | | | |
|---------------|---------------|--------------|-------|
| 旭光学工業株式会社 | 鈴木幸三郎 | 谷村株式会社新興製作所 | 谷村貞治 |
| 朝日新聞社科学部 | 高津真也 | 中部電力株式会社 | 横山道夫 |
| アジア航空測量株式会社 | 柏木秀一 | 地人書館 | 上条勇三 |
| アストロ光学工業株式会社 | 滝沢馨 | 電気興業株式会社 | 萩原憲三 |
| 岩井計算センター | 大隅義郎 | 天文博物物館 | 五島昇 |
| 岩波書店 | 岩波雄二郎 | 五島プラネタリウム | 池辺常刀 |
| 応用電気研究所 | 唐沢大介 | 東京精密測器株式会社 | 木川田一隆 |
| オリンパス光学工業株式会社 | 中野撒夫 | 東京電力株式会社 | 小幡三雄 |
| 学術印刷株式会社 | 大熊竜象 | 東京通商株式会社 | 平井寛一郎 |
| 梶原電気株式会社 | 大槻原家 | 東北電力株式会社 | 奥村喜和男 |
| カールツァイス株式会社 | Johannes Maaz | 東陽通商株式会社 | 村上俊男 |
| 関西電力株式会社 | 芦原義重 | ナルミ商会 | 高野高之夫 |
| 関東電気工業株式会社 | 関井忠夫 | 日米商会 | 佐田静夫 |
| 九州電力株式会社 | 赤羽善治 | 日本IBMデータセンター | 白浜浩捷 |
| 倉敷レイヨン株式会社 | 大原総一郎 | 日本光学工業株式会社 | 望月正捷 |
| 恒星社厚生閣 | 志賀正路 | 日本出版貿易株式会社 | 坪井正 |
| 甲南カメラ研究所 | 西村中子 | 日本富士観光センター | 馬場幸三郎 |
| 五藤光学研究所 | 五藤斉三郎 | 天文台プラネタリウム | 服部正次 |
| 金光教本部教庁 | 金光鑑太郎 | 早川電気工業株式会社 | 服部米一郎 |
| 三栄測器株式会社 | 丘山欽也 | 半導体技術部 | 林角田明忠 |
| 三島田理化学工業株式会社 | 小倉正風夫 | 服部時計店 | 司村義一 |
| 新電子工業株式会社 | 実武和一雄 | 林建設株式会社 | 磯貝誠義 |
| 住友化学工業株式会社 | 大谷一雄 | 毎日新聞社学芸部 | 伊東祐義 |
| 誠文堂新光社 | 小川誠一郎 | 丸善株式会社 | 田嶋一雄 |
| 測機舎株式会社 | 西川末二 | 三鷹光器株式会社 | 西村正紀 |
| ソニー株式会社 | 井深大 | 三菱重工業株式会社 | |
| 太陽社 | 弘田道淳 | 三菱電機株式会社 | |
| | | ミノルタカメラ株式会社 | |
| | | 八洲測量株式会社 | |

昭和44年3月20日
印刷発行
定価 125 円

編集兼発行人 東京都三鷹市東京天文台内
印刷所 東京都文京区水道2-7-5
発行所 東京都三鷹市東京天文台内
電話武蔵野45局 (0422-45) 1959

広瀬秀雄
啓文堂松本印刷
社団法人日本天文学会
振替口座東京 13595